

卒業するに当たって



明治大学英語部110代渉外部長岡部有希

寒冷の候、駿台 E. S. S. の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より明治大学英語部の活動にお力添えを賜り、現役学生を代表し心より御礼申し上げます。

私は2019年度明治大学英語部渉外部長を務めておりましたスピーチセクションの岡部有希と申します。来春に卒業を控え、大学生活がもう間もなく終わろうとしています。本当にあつという間の4年間、光陰矢の如し、であったように感じられます。

明治大学に入学してからの4年間を振り返ってみると、大学生活において、特に英語部での経験は印象深く心に残っています。それは、明治大学英語部が110周年を迎える年に、私自身が渉外部長として、その祝賀会の運営に携わることが出来たためです。また、110周年記念誌の編集委員として、OBの方々とともに約1年間に亘り編集活動に参加することが出来たことは大変貴重な経験でした。記念誌の編集にあたり、過去の記録を集める中で、OBOGの方々長い歴史の中でどのような活動をなされてきたのかを知る機会に接することができ、英語部への愛着が更に深まったように思います。改めて英語部の歴史の重さを感じた次第です。

さて、今年は新型コロナウイルス感染症拡大により、人々の生活スタイルや企業活動等に大きな影響を及ぼすことになりました。駿台 E. S. S. の皆様におかれましても、マスクを着用しての外出やリモートワークなど、新たな生活様式・働き方に戸惑われる方も多くいらっしゃったのではないのでしょうか。大学生活もこれまでとは一変しました。大学キャンパスへの立ち入りはできず、自宅でのオンライン授業となり、友人と会う機会も限定的となる等、現在もそのよう

な状態が続いています。

地方出身である私にとっては、年末年始の帰省も憚られるところです。卒業に先立ち4年生にとって最も大事なイベントである就職活動においては、突然新卒採用中止を決定する企業の続出、採用者数の大幅削減、そしてオンラインによる面接等々により困惑する場面が多々ありました。しかし、そのような状況下、手を差し伸べてくださったのが、英語部のOBOGの方々でした。志望する企業に提出するエントリーシートの添削や面接練習をしてくださり、丁寧なご指導をいただきました。また、OBOGの方々も大変な状況の中、私たち後輩のサークル活動に多大なご支援をして頂き本当にありがとうございました。

コロナ感染拡大が続く中、学生によるアルバイトの機会が極端に少なくなり、部活動費の捻出が厳しくなっている学生も多数見受けられます。そのため、駿台E.S.S.の皆様からの経済的支援は大きな助けになっております。大切に活用させていただく所存です。現役生を代表して、改めて感謝申し上げます。

最後になりますが、駿台E.S.S.の皆様におかれましては、明治大学英語部の活動にご理解とご支援賜り、心よりお礼申し上げます。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。